

Unir(ユニール)通信



令和7年5月 第1号 文責：緩和ケア認定看護師 吉田

こんにちは。緩和ケア認定看護師の吉田です。

ご存じの通り院内には、認定看護師で結成されている認定看護師会があり、“Unir（ユニール）会”という名称で活動しています。Unir の語源は、スペイン語で“つなげる”“一つにする”“結合する”を意味し、マークの中心にある花は千歳市の花で、花言葉は“節度、慎み”を表します。認定看護師はそれぞれの分野で特化した知識を持ち、患者さんとそのご家族によりよいケアを提供できるよう活動しています。本号は、緩和ケア認定看護師が令和3年度から開催している「意思決定支援・ACP（アドバンス・ケア・プランニング）研修」について、皆様にも知っていただきたく、発信いたします。

「緩和ケア、全人的苦痛」の理解

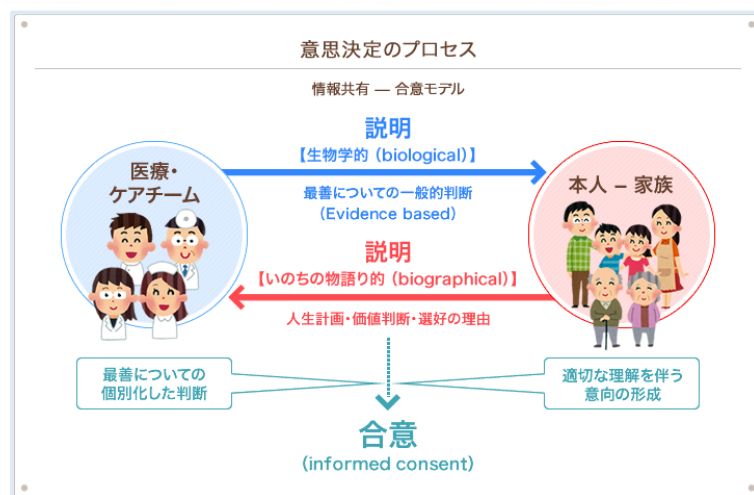
研修は全3回で行っています。対象は看護師で、ナースングスキルを事前に視聴してから参加していただき、毎回、緩和ケア認定看護師の講義を行ったあと、ワークに取り組んでもらいます。講義の内容は、以下になります。

- ・緩和ケアとは
- ・療養場所の選択
- ・緩和ケアが介入する機会
- ・他者の価値観を知る
- ・ネガティブ・ケイ・パブリティの概念
- ・家族への対応
- ・意思決定支援・ACPについて
- ・倫理的課題への対応
- ・コミュニケーション技法

今年度は倫理的課題に関して事例検討をする回を増やし、全4回にする予定です。



意思決定支援とACP（アドバンス・ケア・プランニング）



引用：臨床倫理プロジェクト “意思決定プロセス”
http://clinicaethics.ne.jp/cleth-prj/cleth_online/part1-3/now.html
2025.4.20 アクセス

でも、周囲の環境がそれをよしとしない、それに沿えない、できないかもしれません。本研修は、そういう時にどのように介入すべきかを一緒に学ぶ場となっています。意思決定支援は、過ごし方を表明することだけを目的としないのです。普段のカンファレンスでは、治療中心の話になりがちですが、患者さんの“いのちの物語り”が合意形成には欠かせません。その元になるものは個々の価値観なのですが、「あなたの価値観ってなんですか？」と聞かれてすぐに話せるような内容でもないと思いませんか。

他者の価値観を知り、WinWin な関係性を理解する

iACP という団体があって、“縁起でもない話を当たり前にする世界に”というコンセプトで活動されています。

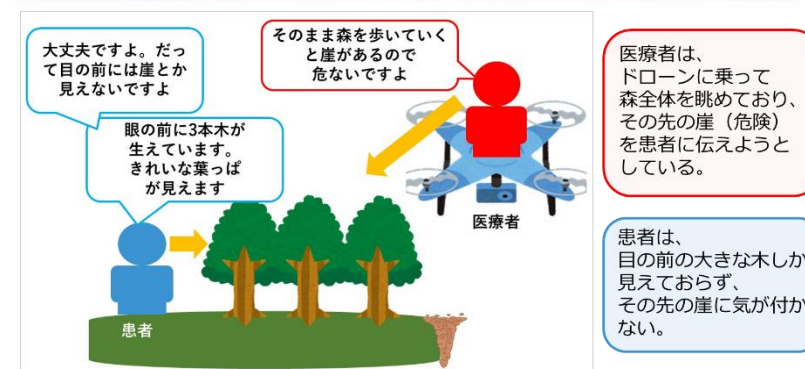
緩和ケアは死が差し迫っている場面だけのものではなく、時間的に余裕のある時から、「もしも、自分の命があと半年だったら何を大切にしたいか」を、「もしバナゲーム」というカードを使って縁起でもない話をゲーム感覚で話し合い、自身や他者の価値観に気付くことができます。

本研修では参加者の方に実際にやっていただくのですが、“自分にはない、他者の価値観を知ることができた”、“みんな違ってみんないいんだ”などの意見があり、他者の価値観を理解すること、その上で否定せずに受け止めることを学んでいます。



引用：iACP “もしバナゲーム”
<https://www.i-acp.org/game.html>
2025.4.22 アクセス

医療者と患者さんの“ものの見え方”



引用：社会ソリューションイニシアティブ (SSI)
“患者と医療者は見ている景色が違う ～新たな「健康・医療のための行動科学」によるシステム構築」を目指す～”
<https://www.ssi.osaka-u.ac.jp/activity/topics/keihirai/> 2025.4.23 アクセス

よう。図のように、医療者はドローンに乗って全体像を見ていて、患者さんは目の前のことしか見えていないことが多々あります。がんに限らずどの疾患もです。

患者さんが、“その先に起こること”をいかに理解できるか。が、意思決定支援のカギになります。患者さんがいくつもの可能性を自分の生活、価値観に合わせ選択できるようにする必要があります。

患者さんの“普段”や“普通”の情報はとても大切

あなたがもし、“関係性のない相手”にあなたのことを色々と聴かれた場合、相手にどのような印象を持つでしょうか。全てを話すでしょうか。患者さんにも同様の感情が生まれます。病んで来院される方々は感覚がいつもよりも研ぎ澄まされ、医療者や他職員の雰囲気、発せられる言葉から敏感に感じ取り、話しやすい相手を選んでいるかもしれません。

特に第一印象はとても大切で、他愛もない雑談の中にこそ患者さんの価値観が現れます。…生まれはどこで、どんな生活をしてきた、その仕事を選んだワケ、何をしている時が楽しい・自分らしいのか、大切に思うことは、外せないものは何か。雑談の中にあったこれらのことは全て、その“人となり”を表す「価値」であり、それを元に療養の仕方が決まることもあります。白衣や制服を着ると「～ねばならない」になりがちですが、相手を思いやる、慮る気持ちでその“人となり”を理解したいものです。

“意思決定支援・ACP 研修”の内容を一部紹介しました。身体のこと以外にも“患者さん自身”を理解したいと思います。よりよいケアを行っていききたいものです。一同一丸となって。

